



イラスト: 広告デザイン専門学校 吉田早貴子
(令和3年度 中区ワークショップ区長賞受賞作品)



●中区の人口と世帯数(令和6年3月1日現在)
 ■人口:100,139人 ■世帯数:70,813世帯

- ▶料金の記載がないものは無料です。▶敬称略
- ▶申込の記載がないものは予約不要です。
- ▶場所の記載がないものは各施設で行います。
- ▶お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

●中区ウェブサイトもご覧ください。

Q | 名古屋市中区 検索
 ▶名古屋市の市外局番は「052」です。
 編集: 中区役所
 〒460-8447 栄四丁目1番8号
 代表 ☎241-3601 FAX261-0535

いざというときのため、高めよう地域の力

～ お互いが助け合う身近な組織「町内会・自治会」～

皆さまが安心・安全で快適に暮らせるまちを維持していくためには、町内会・自治会の力が必要不可欠です。中区では町内会加入率が低く、町内会活動の担い手不足も深刻になりつつあります。今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に備えるためにも、自分の住むまちの地域の力を高めるためにも、町内会・自治会に加入しましょう。

町内会・自治会の活動

どんな活動をしているの？



防犯パトロール



防犯灯・防犯カメラの設置



夏祭り



清掃活動

災害に備えよう

日ごろのコミュニケーションがいざというときに生かされる!

東日本大震災時のエピソード

日々の活動が抜群の連携を生む

自治会長である私は、旅行中でした。翌日にやっと戻ってきたとき、自治会や住民の皆さんの顔を見て全員の無事がわかり、ホッと安どしたのを記憶しています。しかし、自治会長が指揮を執らなくても肅々と自治会メンバーが各自の仕事を担当していたときは本当にうれしかった。これも日ごろの自治会の交流があったからだと思います。夏祭りなど、日ごろの活動も訓練になったのかもしれません。これまでの活動を通じて培った連帯感が、信頼感につながって、今回の被災を乗り切れたのだと思います。(浦安市/60代/男性)

出典:内閣府「一日前プロジェクトエピソード集」

能登半島地震の被災地支援に派遣された区役所職員の声

被災者の方々が互いに助け合って避難所運営を積極的に行っていました。普段から地域のつながりを作っておくことの大切さを学びました。



普段から築いていた地域のつながりを生かして、誰が何を得意としているかがわかっており、避難所運営でスムーズな役割分担ができていました。



災害時、地域のつながりが助けとなったエピソードなどを紹介しています。ぜひご覧ください。



救ってくれたのは、地域のつながり 検索

大災害発生時は、地域住民がお互いに助け合うことが必要です。
 地域とのつながりは、もしもの時、あなたの命を、家族を、救うかもしれません。

町内会・自治会に加入するには？

町内会・自治会加入申込カード

世帯主氏名			
ご記入者氏名	<input type="checkbox"/> 上記に同じ		
ご住所 電話番号	中区	町	番地
	アパート・マンション名など	丁目	番
連絡事項	TEL ()		番地

地域の町内会長・自治会長にお問い合わせください。町内会長・自治会長がご不明な場合は、左記「町内会・自治会加入申込カード」にご記入のうえ、区役所地域力推進課へご提出ください。窓口へ持参いただくほか、電話、ファクス、Eメールでも受け付けています。(町費や会費などについてはそれぞれの町内会・自治会に直接お問い合わせください。)



市電子申請サービスでも申し込みできます



問合 区役所地域力推進課 ☎265-2221 FAX 261-0535 ✉ a2652221@naka.city.nagoya.lg.jp